

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社DNPファインオプトロニクス 三原東工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田西町小原73-1

(3) 業種

2899 その他電子部品・デバイス・電子回路製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成17年度を基準年度とし、平成26年度から平成32年度までの7年間とする。

3 計画の基本的な方向

DNPグループの環境方針 及び 環境活動目標に基づき、下記の環境目標を定め、温室効果ガス削減に取り組みます。
(別紙 ”DNPグループ環境方針”、”環境活動目標・実績一覧” 参照)

〔環境目標〕
温室効果ガス排出量を2020年度までに2005年度比10%削減する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成17年度	平成25年度
二酸化炭素	/	147,968	117,680

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成17年度	平成25年度
二酸化炭素	/	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成17年度	平成25年度
メタン	/	80	72
一酸化二窒素	/	104	58
HFC PFC SF6	/	16	16

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成17年度)	削減目標		目標年度 (平成32年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	147,968	10.0	14,797	133,171
非エネルギー起源CO ₂	0	-	0	0
メタン	80	10.0	8	72
一酸化二窒素	104	10.0	10	93
フロン類	16	10.0	2	15
温室効果ガス 実排出量総計	148,168	10.0	14,817	133,351
温室効果ガス みなし排出量	0	-	0	133,351
目標設定の考え方	温室効果ガス排出量を2020年度 (H32) までに2005年度 (H17) 比10%削減			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
フロン類				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量を年1.0%削減	・COPの良い熱源設備へ更新 (吸収式冷凍機をターボ冷凍機へ更新) ・外気や設備の負荷変動に応じた効率運転 (温湿度設定や運転状況の見直し) 等
2	電力使用量の削減	電力使用量を年1.0%削減	・ヒーター電力削減 (生産装置の熱排気を有効利用) ・生産ライン停止時の電力ロス削減 (不要設備の停止、ポンプの適正運転) 等
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種 類	合計量
1		
2		
3		

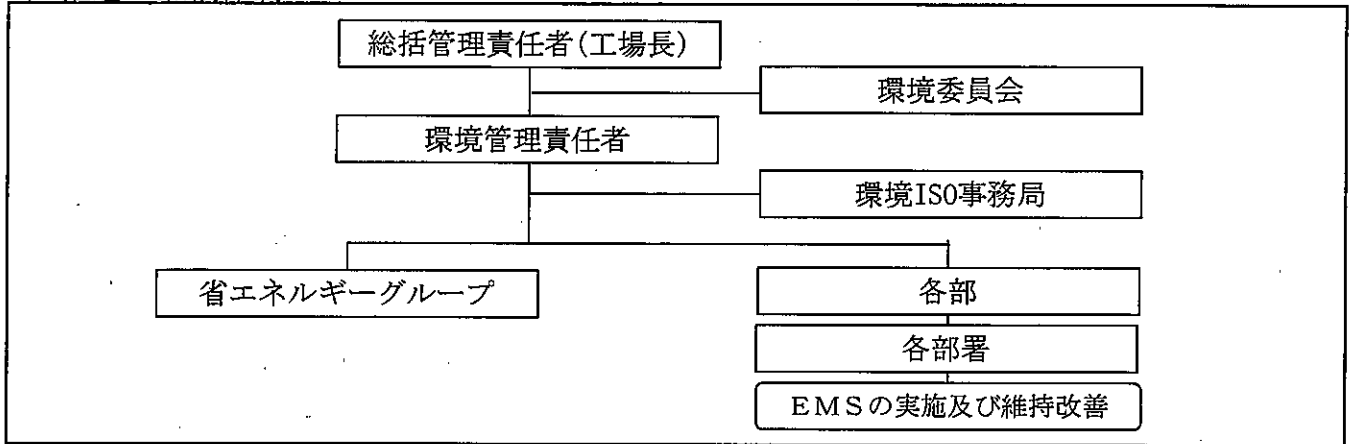
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	産業廃棄物削減	ゼロエミッション (最終処分場利用率0.5%以下) を維持	設備、技術、生産工程の改善 分別回収、リサイクルの推進
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

三原東工場の環境目標を達成するために、ISO14001システムに基づく各部門での省エネルギー（温室効果ガス削減）活動状況を、毎月実施している環境委員会にて報告することで、定期的な評価・見直しを行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

株式会社DNPファインオプトロニクス 三原東工場への備付による閲覧とする。